



すべての社員が「働きやすい」職場を目指して

SDGsの17のゴールの中には「働きがいも経済成長も」「ジェンダー平等を実現しよう」といった目標も設定されています。キミカは、これらの目標を達成するため、「すべての社員が働きやすい環境づくり」を目指した取り組みも行っています。

社員インタビュー



2015年入社
生産本部 リーダー
木田 健太さん

-----担当業務は？

医療分野で用いられるアルギン酸の製造を担当しています。医療分野では非常に高度な品質管理が求められるため、「医療用アルギン酸」は世界で2社しか作ることができません。私たちのつくる製品は、再生医療をはじめとする最先端の医療技術に応用されており、世界中の研究者から注目されています。とても難しい仕事ですが、職場をまとめるリーダーとして、大きな働きがいを感じています。

-----入社を決めた理由は？

富津生まれ富津育ちの私は、地元の高校を卒業後には東京の大学へ進学する予定でした。しかし家庭の事情で進学を断念。就職活動のシーズンが終わってしまっており、進路に迷っていたところに、縁あってキミカの社長にお声掛けを頂きました。高校を卒業する間際のタイミングでお声がけ頂いたことに感謝の気持ちを抱き、地元企業の一員として頑張ろうと決めました。

-----担当業務は？

アルギン酸の用途開発をしています。キミカには、パンや麺などの試作設備を備えた「フードラボ」と呼ばれる施設があり、そこで様々な食品にアルギン酸を配合して効果の検証を行っているのです。私は、アルギン酸をパンに配合することで「潰れにくいパン」や「食感のよいパン」を作る方法（レシピ）を開発して、食品メーカーに提案しています。

-----入社を決めた理由は？

私は大学院で研究をしていたので、研究開発職を志向していました。キミカは、自分のやってみたいことにチャレンジできる環境が整っていると感じたことや、産休・育休などの社内制度も整っていることから入社を決めました。実際、産休・育休を経て職場復帰を果たし、第一線で活躍している女性社員も身近にたくさんいます。

-----やりがいを感じる瞬間は？

「アルギン酸ってスゴイ！」と実感する瞬間です。アルギン酸を加えたパンは焼き上がると明らかに大きくふっくらと膨らむんです。麺にコシが出たり、プラントベースミート（大豆などの植物を使って作る肉）の形成に効果を発揮したり、アルギン酸って本当にスゴイですよ。

-----印象に残っていることは？

キミカには、すべての社員が会社に対して意見を提言できる制度（改善提案制度）があります。この制度を利用して生産設備の改善を提案したところ採用され、自分のアイディアで工場の生産性を向上させることができました。その年の年末には「特別賞」を頂くことができ、なによりも、この成功体験によって自分の仕事に自信を持てるようになりました。

-----苦勞を感じた瞬間は？

6年前の入社当時は、同じ部署に年の近い仲間がおらず辛く感じたこともあり。しかし、数年前から「インストラクター制度」がはじまり、新入社員には必ず年の近い先輩社員がひとり付いて、公私問わず悩みを相談できる環境になりました。正直、最近の新入社員が羨ましいですね。私もいまは、インストラクターとして、6年前に自分が経験したような寂しい思いをしないよう、新入社員をサポートしています。

-----夢はありますか？

人望に厚く、会社から大事な仕事を任せてもらえる存在になりたいです。医療用アルギン酸の生産体制を確立することは、会社の将来を占う非常に大きな仕事です。私の直属の上司は、この大事な仕事を任されていて、自ら製造ラインに入って課題を解決したり、品質保証のための規制を勉強したりしています。比較的年の近い上司なので本当に尊敬する存在で、はやく上司のような仕事のできる人間になりたいです。新しいことにもどんどん挑戦し、会社の成長にも貢献したいと思っています。

-----苦勞を感じる瞬間は？

どんなに試行錯誤を重ねてもアルギン酸の効果を上手く引き出せないときには「良さを見つけてあげられなくてゴメンね」と、アルギン酸に対して申し訳ない気持ちになります。もっと勉強して、経験を積んで、アルギン酸の魅力を引き出せるようにしたいです。

-----夢はありますか？

私の部署には、パンメーカーの技術者、つまり、パン作りのプロがヒントを求めて相談に来ます。そのため、私自身が「パン作り」と「アルギン酸」の両方のプロにならないと、お客様が求める価値を提供することはできません。自己啓発に努めており、今年は「パン製造技能士」の国家資格を取得しました。フードラボも来年完成する新社屋に入居する予定なので、新社屋の完成が楽しみです。



2019年入社
技術開発本部
森 結花さん

キミカでは
ともに働く仲間を
募集しています

- ❶ 新しいことに挑戦することが好きな方
- ❷ きれいで快適な新社屋で働いてみたい方
- ❸ 富津市で長く働ける職場をお探しの方

詳細は採用サイトを
チェック！

<https://www.kimica.jp/recruit/#slide01>



ジャパン SDGs アワード受賞

株式会社 キミカ



〒千葉県富津市大堀1029（千葉プラント）
☎0439-87-1131 🌐<https://www.kimica.jp/>



▲菅首相、加藤官房長官、茂木外務大臣よりジャパンSDGsアワードを贈られたキミカの笠原社長（2020年12月）。

日本では唯一のアルギン酸メーカー。SDGsの最高賞「ジャパンSDGsアワード」で特別賞を受賞し、日本政府から「国際的なロールモデル」と評されている企業が富津市にあることをご存知でしょうか？「アルギン酸」を製造販売するメーカー、株式会社キミカです。「アルギン酸」とは、コンブやワカメなどの海藻に含まれる天然の食物繊維で、食感改良剤として様々な食品加工に利用されています。例えば、コンビニで売られているサンドイッチには、その殆どにキミカが製造した「アルギン酸」が配合されています。食品以外にも、医薬品、化粧品、繊維、鉄鋼、製紙など幅広い産業で活用されている身近な素材です。同社は1941年に富津市で創業し、以来80年間にわたり業界を牽引し続けています。いまや、アルギン酸の国内シェアは90%を超え、特に食品・医薬品向けでは、世界トップの生産量を誇るグローバルカンパニーです。同社がSDGsのフロントランナーとして注目される理由は、原料となる海藻の収集方法にあります。競合企業が生きた海藻を刈り取って利用するなか、同社は海岸に打ち上げられた「漂着海藻」を原料に生産活動を行っているのです。同社は、南米チリにも拠点を構えており、チリの浜辺に漂着した海藻をひとつひとつ手作業で拾い集めて利用しています。この方法は、海洋環境を犠牲にすることなく海洋資源を有効活用することを可能にしただけでなく、チリ現地の漁民の収入を安定化することに繋がり貧困問題の解決にも貢献しているといえます。



▲漂着海藻を収集するチリの漁民
◀同社チリ工場内のワイン畑

POINT

2022年夏、世界水準の研究設備と環境性能を備えた新社屋が富津市に誕生



株式会社キミカは、富津市に新社屋を建設しています。24m×70mの大空間が建物中央に配したクロス階段（内階段）で有機的に繋がる設計は、ポストコロナ時代の新しい働き方を可能とします。新社屋には、研究開発や品質管理試験を行うための研究エリア、オフィスエリア、福利厚生エリアが集約されるなど、組織の一体感を醸成するための工夫が随所に施されています。さらには、環境性能と居住性に優れた最先端の空調システムを採用するなど、「ジャパンSDGsアワード」の受賞企業にふさわしい、人と地球にやさしい新社屋が誕生します。